

平成28年5月17日

平成27年度政務活動のあらまし

品川区議会自民党・子ども未来

幹事長 渡辺 裕一

本年度、品川区議会自民党・子ども未来は12名で活動を開始し、様々な政務活動をおこなってまいりました。

日頃の政務活動のなかで、区民の皆様の声をお聞きするとともに、各種団体とのヒヤリングを行い、27年度も7月13日～21日の日程で、40を超える団体の皆様からご意見ご要望を頂きました。その後、政務調査会の検討の結果、9月に141項目に亘る「平成28年度へ向けた政策要望」の取りまとめを行い、濱野健区長に提出致しました。

平成28年度予算におきましても、我が会派から要望した内容が数多く取り上げられました。特に、品川区議会自民党・子ども未来として強く要望しました、町会・自治会支援の拡充、ロタウイルスワクチン接種費用の助成、保育園の待機児童対策を含む子育て支援の拡充、高齢者施設の整備、防災対策の強化、オリンピック・パラリンピック開催に向けた取り組み、などが品川区の重要課題として取り上げられ、保育園受け入れ人数の拡大、高齢者福祉施設の新たな整備計画策定、オリンピック・パラリンピック開催気運醸成のためのスポーツイベントの開催、町会・自治会支援条例の制定、わが会派提案による、おもてなし条例の制定などが具体化されました。この他、防災・防犯対策、介護サービスの充実、文化芸術・スポーツの振興、区民活動支援、就学前教育の推進、環境対策、小中一貫教育の充実、行財政改革の推進など、我が会派からの多くの政策提言が各種事業に取り入れられ実現に向けた取り組みが行われております。

政策提言を行うには実際に行われている状況の把握や現場の確認、他都市の状況把握が必要不可欠であり、区内各所の調査と共に区外の調査も行いました。代表的なものとして、昨年から特別区全国連携プロジェクトの一環として、品川区との連携を深めている福井県坂井市を3月に訪問し、先進的な学校施設、教育政策を視察し、また坂井市長、市議会の方々との交流、シティープロモーション施策について研究を深めました。

また、講師を招いての政策セミナーを開催し、多方面で活躍されている専門家の方々にご講演をいただき、政策提言に生かしました。

広報活動として最新情報を伝えるべく「品川区議会自民党・子ども未来広報誌」を3回発行し、区内各種団体代表の皆様方には定期的に広報誌送付を行っております。また、区議会定例会の最終日には区政報告等を含む街頭演説を大井町駅前で行っております。今後も地域に密着し、区民の方々に、しっかりと御理解頂ける活動を行って参りますことをお約束し、「政務調査活動のあらまし」の報告とさせていただきます。